

## 1. 製品及び会社情報

1.1 製品の名称：鉄粉 MC100.24

商品コード： QV595-

1.2 供給者の会社名称：日酸TANAKA株式会社

住所： 〒354-8585 埼玉県入間郡三芳町竹間沢11番地

担当部門： 制御機器事業部

担当部門住所： 神奈川県川崎市幸区塚越4-320-1

電話番号： 044-549-9647

FAX番号： 044-549-8970

緊急連絡先及び電話番号： 同上

推奨用途及び使用上の制限： パウダ一切断用  
(指定のパウダーディスペンサー以外で使用しないこと)

## 2. 危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の分類

分類されていない。

2.2. ラベル要素

分類されていない。

注意喚起語  
なし

注意書き  
該当しない

2.3. 他の危険有害性

本物質は、PBT物質またはvPvB物質の基準に該当しない。ダストの生成を避ける。空気中に十分な量の微細ダストが分散し、着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある。

### 3. 組成及び成分情報

#### 3.1 化学物質/混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	規則(EC)No. 1272/2008[CLP]による分類	OEL(職業上のばく露限界)値をもつ物質
鉄	7439-89-6	>97	-	*

### 4. 応急措置

吸入	新鮮な空気のある場所に移動する。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚接触	汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。
眼接触	まぶた(眼)の裏側まで多量の水でよく洗うこと。刺激が続く場合は、医師の治療を受ける。
経口	コップ1杯~2杯の水を飲むこと。可能ならその後にミルクを飲むこと。医師の手当てを受けること。

#### 4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入	主な症状：咳、息切れ。気道刺激を引き起こすおそれ
皮膚接触	長時間の接触により刺激を生じることがある。
眼接触	機械的な刺激を生じることがある。
経口	飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

#### 4.3. 取るべき応急措置及び必要とされる特別な治療の指示

症状に応じて治療すること。

### 5. 火災時の措置

#### 5.1. 消火剤

##### 適切な消火剤

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。水スプレーで、容器および周辺を冷却すること。金属火災は水を使用するよりも空間を密閉して窒息消火することが望ましい。使用：粉末消火剤、化学消火剤。

##### 使ってはならない消火剤

火災を拡散するおそれがあるので棒状水を使用しないこと。

##### 特別な危険有害性

ダストの生成を避ける。空気中に十分な量の微細ダストが分散し、着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある。

通常火災時と同様、自給式呼吸用保護具を着用。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

粉じんの形成を避けること。すべての着火源を排除すること。項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

## 6.2. 環境に対する予防措置

物質が排水溝ないし水路へ侵入しないようにする。可能であれば、固体の形で製品を回収してください。

漏出物を閉じ込め、防爆型の電気掃除機または湿ったブラシにより集め、条例等(セクション13を参照)に従い廃棄するために容器に移す。

## 6.4 参照すべき項目

セクション8、13に記載の保護措置を参照。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

### 保護対策

十分な集塵機を使用する。作業場に粉じんがないようにする。蓄積した粉じんが空中に分散すると、着火した場合、粉じん爆発を引起す恐れがある。

### 一般的な労働衛生に関するアドバイス

吸入、摂取および皮膚と目への接触を避ける。本物質の安全な取扱いを保証するため、職業上の総合衛生措置が要求される。当該措置は、個人としてまた家庭での模範的な実践(すなわち、適切な掃除機で定期的な清掃)、作業現場での飲食、喫煙の禁止を含む。終業時にシャワーを浴び、服を着替える。

## 7.2. 混触危険物質を含む、安全な保管条件

容器は乾燥した場所でしっかりと閉め、材料の酸化を避ける。本製品が酸や強力な酸化剤と接触していないことを確認する。

## 7.3. 特定最終用途

情報なし。

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1. 管理パラメーター

化学品の名称 日本	鉄 - 7439-89-6 -
--------------	--------------------

## 8.2. 暴露防止

### 技術的対策

特に密閉区域内では、十分な換気を確保すること。

### 保護対策

眼、顔の保護具  
皮膚の保護具  
手の保護具  
呼吸用保護具

粉じんの多い雰囲気の場合、ゴーグルを着用する。  
長袖の衣類。  
キャンバス製手袋の着用が推奨される。  
ばく露限界値を超える疑いがあるか、粉じんが不快に感じられる場合、粒子フィルタP3付きのハーフマスクを着用すること

### 熱的危険有害性

本物質は熱危険性を示さないため、特別な検討は不要

### 環境ばく露防止

排気通風機からの粉じんは系外へ隔離し、自然環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	うすい灰色の 微粉碎 金属 粉末.	
臭い	無臭	
臭いのしきい値	該当しない	
粒子サイズ	x50 = 100-300 μm	
<b>特性</b>	<b>値</b>	<b>備考</b>
pH	該当しない	水に不溶性.
融点／凝固点	1538° C @ 1013hPa	
沸点、初留点及び沸騰範囲	2861° C @ 1013hPa	
引火点	該当しない	無機物質には関係しない
蒸発速度		融点を持つ固体 >300° C
可燃性	引火性でない.	EU-Regulation A10法による
空気中での可燃限界		
可燃性又は爆発性の上限	情報なし	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし	
蒸気圧	該当しない	融点を持つ固体 >300° C
相対ガス密度	情報なし	融点を持つ固体 >300° C
相対密度	7,87g/cm <sup>3</sup> @ 20° C	
水への溶解度	0,015 mg/l @ 22° C	
溶解度	情報なし	
分配係数	未確定	無機物質には関係しない
自然発火点	区分に該当しない.	UN試験N.4
ハイフン	該当しない	無機物質には関係しない
粘度	情報なし	融点を持つ固体 >300° C
爆発性	爆発物ではない	本物質は、爆発性に関係する化学基を含まない.
酸化特性	酸化しない	本物質は、化学構造上、可燃性物質と発熱反応できない.

### 9.2. その他の情報

VOC含有率 (%)	情報なし
かさ密度	2,0-3,0 g/cm <sup>3</sup>
微細片	5-30% <45um
粉塵爆発クラス	St 1

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1. 反応性

通常の条件下で安定.

### 10.2. 化学的安定性

通常の取扱いおよび保存条件下で安定

通常のプロセスではない.

### 10.4. 避けるべき条件

ダストの生成を避ける。 空气中に十分な量の微細ダストが分散し、着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある

### 10.5. 混触危険物質

強酸化剤 及び 強酸.

### 10.6. 危険有害な分解生成物

通常の使用条件下ではない。

## 11. 有害性情報

### 11.1. 有害影響に関する情報

概要	「鉄」粉による人の健康に対する主なリスクは、不快な粉じんとして空中で作用する粉じん濃度に関係する。その粉じん濃度が高ければ高いほど、呼吸器系に対する刺激と、目に対する機械的刺激のリスクが増大する
急性毒性	本物質は、皮膚、吸入、摂取に対して毒性がない
皮膚腐食性／刺激性	刺激性でない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	OECD 405：刺激性でない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	感作性でない。
生殖細胞変異原性	エームス試験OECD 471、マイナス(-)
発がん性	世界調和システム(GHS)の基準による分類はない
生殖毒性	金属鉄の繁殖毒性試験は、全身ばく露の不足のため適当でない。
STOT - 1 回ばく露	世界調和システム(GHS)の基準による分類はない
STOT - 反復ばく露	世界調和システム(GHS)の基準による分類はない
誤えん有害性	世界調和システム(GHS)の基準による分類はない

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
鉄	7500 mg/kg bw (Rat)	-	-

## 12. 環境影響情報

### 12.1. 生態毒性

#### 生態毒性影響

鉄の塊や微量しか溶けない形態は、極めて不溶性であり、危険有害性はない。

化学品の名称	藻類／水生植物	魚類	微生物に対する毒性	甲殻類
鉄	-	LC50 96 h = 13.6 mg/L (Morone saxatilis - static)	-	-

### 12.2. 残留性・分解性

生分解性の判定方法は無機物質には適用されない

### 12.3. 生態蓄積性

鉄およびその化合物は、不可欠な化合物である。鉄は必須微量元素で、全ての生命体の中で適切に調整されている。入手できる証拠によると、水中および陸上の食物連鎖において、鉄の生物濃縮が存在しないことが示されている。既存情報によると、鉄は生物濃縮されないだけでなく、むしろ生物希釈を示す傾向があるとされている。

#### 12.4. 土壤中の移動性 土壤中の移動性

鉄およびその化合物は、水酸化物の形態で環境中に見られる。鉄およびその化合物は、酸化物の形態では長期間安定である。

#### 12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

鉄は水に極めて不溶性であり生体蓄積できない。よって、鉄は分類上PBTの基準にもvPvBの基準にも該当しない。

#### 12.6. 他の有害影響

情報なし

### 13. 廃棄上の注意

#### 13.1. 廃棄物処理方法

##### 製品の処分

現地の規則に従って廃棄すること。

##### 包装の処分

清浄にできない包装は、地方条例、国家法規に従い特別廃棄物として処分すること。

### 14. 輸送上の注意

14.1. UN番号 該当しない

14.2. 品名(国連輸送名) 該当しない

14.3. 国連分類(輸送における危険有害性クラス) 該当しない

14.4. 容器等級 該当しない

14.5. 海洋汚染物質 該当しない

14.6. 使用者のための特別予防措置 該当しない

### 15. 適用法令

#### 15.1. 該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

##### 国内規制

\*特定化学物質等障害予防規則:

情報なし

\*労働安全衛生法: 情報なし

\*化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):  
情報なし

#### 国際インベントリー

製品中のすべての構成要素は次の明細書の中にある

TSCA	適合する
EINECS/ELINCS	適合する
DSL/NDSL	適合する
PICCS	適合する
化審法インベントリ	適合する
IECSC	適合する
AICS	適合する
KECL	適合する

## 16. その他の情報

#### 省略

EC50 ( - UVA): 半有効濃度 (EC50)  
LC50: 半致死濃度  
LD50: 半致死量  
NOEC: 無影響確認濃度  
OEL: 職業上のばく露限界  
PBT: 持続性、生体蓄積性、毒性の化学物質  
PNEC: 予測無影響濃度 (PNEC)  
STEL: 短期ばく露限界  
TWA: TWA - 時間加重平均  
vPvB: 極めて持続性で、極めて生体蓄積性の化学物質

発行日 23-7-2022

改訂記録 情報なし.

この安全データシートは、日本の法律に従い作られている。  
日本 - GHS分類

安全データシートのおわり